



なきごえ

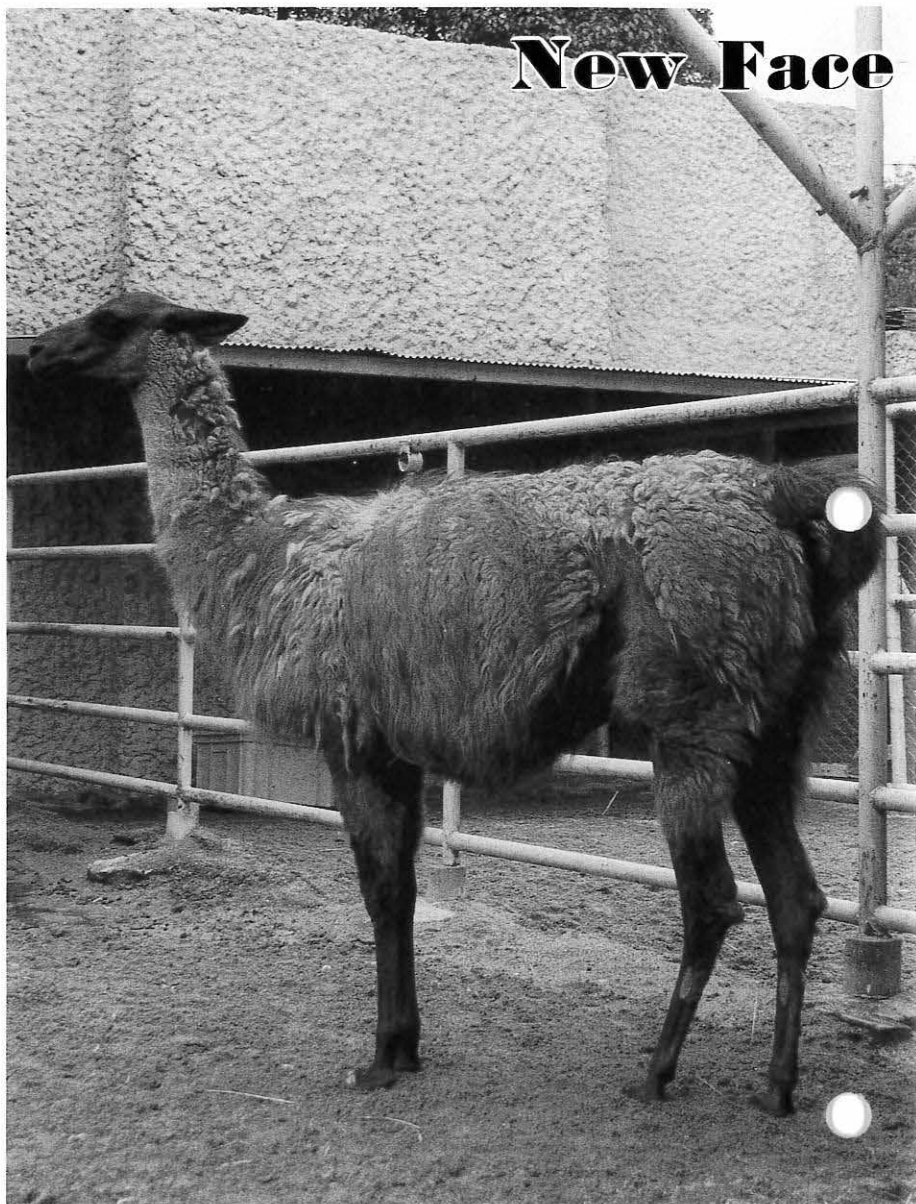


1996

10



大阪市
天王寺動物園協会



New Face

(撮影：萩原 祐二)

- 2 — New Face ラマの新しい仲間が来園 (萩原 祐二)
- 3 — 動物と私 —石コロはココロの友達—
石コロの動物をつくって… (毛利 崇房)
- カバーウォッチングマレーグマ (萩原 祐二)
- 4 — 絶滅の危機に瀕するクマタカ (飯田 知彦)
- 6 — 第22回サマースクール (中上 正幸)
- 8 — グラフZOO 第22回サマースクール (落合 正彦)
- 10 — 公園花だより (山元 貞幸)
- 11 — ZOO DIARY

カバーウォッチング

マレーグマ
ネコ目 クマ科
Urusus malayanus
ビルマ、タイ、マレー半島、スマトラ、ボルネオなどの森林にすむ小型のクマ。胸に黄白色の月の輪のような模様があります。雑食性でシロアリ、昆虫、小動物、果汁などを食べます。
(管理課：萩原 祐二)

||||| 動物と私 |||||

—石コロはココロの友達—
石コロの動物をつくって…



毛利 崇房 さん
(イラストレーター)

青 空に、ポツカリと浮かんだ白い雲や、土壁のシミや、天井の模様がいろんなモノに見えて、喜んだり、おどろいたり…。

そんな子供の頃、四国の川原でみつけた石コロが、家で飼っていたヒヨコに見えました。それが、石コロの動物との最初の出会いです。あれからすっかり石コロにハマってしまったのです。

今までにどれくらいの数の石コロの動物達を作ったかわからないが、少々、出来の悪いものでも、それなりにかわいく、面白い。仕事柄(漫画を描いています)アイデアにつまった時など、気分転換に石コロをみつめていると、なんとなく楽しく、時間のたつのも忘れてしまいます。自然がつくったものの中には、びっくりするほどすばらしい発見があり、あらためて、自然って面白いなアと思います。

川 や、海岸、道路や公園でみつけた石コロが、今、かわいい動物になり、手のひらの上で遊んでいます。時々、石コロの動物を一匹リユツ

クに入れて、散歩に出かける時があります。自然の中におくと、部屋の中とはちよつと違った表情がみえて来ます。その中のゴリラが、昨年三月、西アフリカに行ってきた。サハラ砂漠をバックに記念撮影…現地の子供とのツーショットもあります。でも、相当きびしい旅行だったらしく、日本に帰って来た時は、それはもう色あせて、ボロボロでした。すぐに化粧直しをして、もとにもどりましたが…。それから、長野でみつけた石コロのフクロウは、フランス旅行の折、パリで出逢った映画監督にすっかりほれ込み、とうとうパリのアトリエに棲みついてしまいました。もう立派な“フランスフクロウ”になっていることでしょう。(そのフクロウのかわりに、パリのルーブル美術館の前の石コロ一つ、いただいて来ました)

← ラマの新しい仲間が来園 ウシ目 ラクダ科

今まで、白色系のラマしかいなかった所に神戸市立王子動物園からやって来た褐色のラマです。最初はグループから少し浮いて見えたが、今ではすっかり溶け込んだようです。

旅 行の記念に、石コロをひろって来たことありませんか? そんな石コロをみつめていると、そのまわりの風景まで思い出すことが出来ます。この様に、なんでもない石コロも、見方によれば、本当に楽しいものです。その様な石コロをさがしだし、自分の好きな動物に、変身させてみてはどうですか? 一度挑戦してください。

今 までに作った動物達の顔は、どちらかというとな静かな表情が多い。考え事をしていたり、ねむっていたりと、どこかさびしうに見えます。これから出逢う石コロは、どんな表情の動物になるのでしょうか。できれば、楽しそうに笑っている、かわいい石コロに出逢いたいものです。なにもかかなくても、そのようにみえる石コロにー。
(もうり やすぶさ)



【フィールドでの調査】

「今、25番から28番に移動中。そちら捕捉できますか」

「こちらキャッチしました。尾根の上を旋回しているのが見えます」

雪の山に無線の声が飛びかいます。

ここは広島県の西中国山地、標高1000m以上の山々が連なる山岳地帯です。私達が15年以上もクマタカの生態調査を行なっている場所です。

今は2月、クマタカのつがい繁殖を開始する大切な時期です。今日は、その巣作りの様子を調査しているのです。



尾根を旋回

【クマタカという鳥】

クマタカは、全長約80cm、翼を開いた大きさは約2mにもなる大型のワシやタカの仲間です。もともと生息数が多いというのに、近年、繁殖成功率（子育てに成功する割合）が激減し、急速に絶滅に向かいつつある動物です。そのため、現在最も絶滅のおそれのある野生動物のひとつとして、国から「国内希少野生動植物種」に指定され、また、環境庁からは「絶滅危惧種」に指定されています。これは、トキやコウノトリと同じレベルで絶滅の危機にあるということです。



クマタカ

【クマタカとの出会い】

クマタカという鳥を知ったのは、私が小学生の時です。ある日、私は、図鑑の中の1枚の写真に目をうばわれました。そこには、雪の上でタヌキを押えつけ、口を大きく開けた勇壮な鳥の姿がありました。そのとなりには鷹匠（たかしょう）と呼ばれる、タカを利用してノウサギなどの獲物を捕える猟師と、その猟師の腕に止まったそのタカの姿がありました。そのタヌキを押えつけたクマタカの、気品と勇壮さを合わせ持った力強さに、私は目をうばわれたのです。解説には、こうした鷹狩りは、かつて東北地方を中心に行われていたということでした。私は、遠い東北地方には、クマタカという巨大で勇壮なタカが住んでいるのだなと思いました。

それから何年かたち、ある日、中国地方の鳥の目録を見ていた私は、思わず目を疑いました。その中にクマタカの名前があったのです。

「近くにクマタカがいる！」

その日以来、私はクマタカの姿を求めて山々を歩きまわりました。

それからしばらくたったある日のことでした。

いつものように深い谷あいから尾根を見ていた私の視界に、突然大型の鳥が飛ぶ姿が飛び込んできました。

幅の広い厚みのある翼、尾羽の太い帯状の模様、それはクマタカでした。

それにしても、なんとゆったりと堂々と飛ぶことでしょう。そしてなんと重量感のある飛び方なのでしょう。

いつの間にか、クマタカは2羽になっていました。つがいのクマタカは、しばらく尾根の上を旋回



クマタカの飛しょう

していましたが、やがて尾根の向こうに消えていきました。わずか数分間のことのはずですが、私には、とても長い時間のことのように思われました。

【調査の始まり】

東北地方などにしかないと思っていたクマタカが身近にいたことは、私にとって大きな驚きで

した。そして彼らのことを知ろうとさまざまな文献を調べました。しかしその結果わかったことは、クマタカについては、ほとんどなにもわかっていないということでした。

「では、私が調査してみようか」

謎が、私の好奇心をかきたてました。

【フィールドワーク】

野外で調査することをフィールドワークといいます。それ以来、私は、時間の許すかぎりフィールドに通い続けました。

しかし、その結果わかったことは、「クマタカに会うのは非常に困難である」ということでした。調査結果からの出現率（観察時間に対するクマタカの出現時間の割合）は、飛行で約1%、長時間の止まりの時間を加えても、全体で約8%と非常に低かったのです。これが、これまでクマタカの調査がほとんど行われなかった最大の原因でした。だからこそ、ゆったりと時間の流れる山の中でずっとクマタカを待ち続け、これまたゆったりとした時間を生きるクマタカに会えた瞬間は、とても素晴らしい時間でした。

しかし一方で、私はただ単にクマタカを見て楽しむためにフィールドに出ているわけではありません。そのため、クマタカの出現時間、利用環境、行動などを、可能なかぎり詳細に、克明に記録していきました。これは決して楽な、楽しい作業ではありません。しかしこうして科学的なデータを収集し解析することで、クマタカの生態が明らかになるのです。

こうして、日本でのクマタカの生態が、少しずつ明らかになっていきました。それは同時に、絶滅の危機に瀕するクマタカを救うためのデータが少しずつ集まり始めたということでした。

【クマタカを守ること —それは豊かな生態系を守ること—】

生態系には、食物連鎖と呼ばれる「食べる、食べられる」の関係があります。生態系にはこの関係で幾重にも重なっていますが、その日本の森林生態系のピラミッドの最上位に位置する動物の代表がクマタカなのです。

つまり、クマタカが1羽生きていくためには、生態系ピラミッドのクマタカより下位に位置する数多くの生物種や個体が必要なのです。つまり、クマタカは、生物の多様性の高い豊かな環境が保

たれた場所でなければ、生きて子育てしていくことができないのです。つまり、クマタカを守るには、クマタカを支える数多くの生物も守る必要があります。逆に多くの生物を守ることがクマタカを守ることにつながるのです。クマタカは、別に特殊な生物ではありません。生物の多様性の高い森林であれば通常生息している「豊かな森の象徴」なのです。そのため日本の森林生態系を考えるうえで欠くことのできない重要な生物なのです。

そのクマタカの繁殖成功率が、近年急激に低下しています。西中国山地の例では、1981年～1985年の5年間で85.7%でしたが、1996年には16.7%にまで低下してしまいました。

クマタカを苦しめているものは、一体なんでしょうか。それは、簡単にいうと「人間活動の生態系に



クマタカは豊かな森の象徴

対する影響」ということができます。広葉樹林の過度な伐採による食物となる小動物の減少、大気汚染や酸性雨などによるすみかの森の枯死、食物となる小動物を通した有害な化学物質の体内への濃縮蓄積などです。これらひとつひとつの力はまだ比較的弱くても、生態系の頂点にたどり着く時には、すさまじい力となってクマタカを直撃するのです。

クマタカが絶滅の危機に直面しているのは、決して奥山の私達と関係のないことではありません。私達と同じ時代に、同じ生態系に生きている彼らが受けている悪影響は、同時に私達人間も受けているのです。彼らは、生態系の悪化を敏感に察知し、私達に知らせてくれているのです。クマタカを私達の次の世代に伝えていくために、私達は広葉樹林の保護や大気汚染の防止、有害な化学物質の流出防止や除去など、クマタカの生息をおびやかすものを取り払う努力を、最大限続けていかなければなりません。

それは同時に、クマタカを含めた多くの動植物、つまり人間にとっても必要で大切な、生物の多様性の高い豊かな環境を守ることになるのです。

第22回サマースクール

天 王寺動物園では、1965年から小学校4年生、5年生、6年生を対象に動物園での飼育体験をしていただくために、毎年夏休みにサマースクールを開催しています。

サマースクールの準備は前年のサマースクールの終了時に始まります。次年度に向けての反省と開催日程を決定します。日程は子供たちが一学期の直後の緊張状態にある期間を選び7月20日～25日の6日間に設定しました。

各班は3組6グループ10名ずつ計60名で構成され、それぞれのグループにボランティア4～5名がつかます。ボランティアの主な役割は、調理実習や清掃実習、触察、実験などカリキュラムに沿った引率、指導などですが、サマースクール期間中は夏休みの子供たちを、例え2日間でもおあずかりするわけですから、動物園は社会教育の場という基本的な立場からも、指導者として、子供たちに挨拶の仕方を教えたり、健康状態に注意したり、飼育担当者の話をきちんと聞かせたりしながら、動物に興味をもたせ、動物のことを考えるきっかけを作るようにすることが大事な役目となります。



一味違った実習風景

頃、体験出来ないことや、聞くことの出来ない飼育担当者の苦労話、見ることの出来ない動物舎の裏側に、子供たちの目も輝き、真剣に話を聞く姿、そして飼育担当者に鋭い質問をする姿は、普段の学校での授業風景とはまた一味違ったものがあります。

ある程度年齢を重ねた者にとっては、子供のころ経験した自然との触れ合いも、近年とりまく自然環境の変化とともに、今の子供たちには、経験できにくくなっています。

サ マースクールでの体験は与えられた受動的な体験となるのはやむを得ませんが、それでも生き物に直接触れたり、餌を与えたり、動物舎に入って掃除をするという体験を通じて、動物を身近に感じ、理解を深めるための大きな手掛かりになっていくものと考えられます。来年のサマースクールをより充実したものにするため、私たちスタッフも、これまで参加した子供たちの意見をアンケートとして集計、今後のサマースクールに反映させていくことができるよう、実行委員会で討議していきたいと考えています。



ダチョウの卵の容量はどのくらい？

(管理課：中上正彦)

今回のサマースクールに参加した生徒の感想文をご紹介します。

題名「サマースクール」 2組1班 落合ゆかり
(大阪市立南百済小学校)

7月22日と23日にサマースクールがありました。私は友達のりえちゃんに行くことになっていたのですが、とても楽しみにしていました。私たちは、私のお父さんといっしょに動物園に行くことになったので、朝早くから私の家で待ち合わせをしました。りえちゃんが来たので、「サマースクールってどんなことをするのかなあ。」と二人で楽ししゃべっていました。一日目は、わくわくドキドキしていたので、お父さんが「さあ、いくで」といっているのも聞こえずにいたので、私とりえちゃんを置いて先に歩いて行ってしまいました。「まってーなーおいていかんとしてえなー。」と言いながら駅まで歩いていきました。動物園の受付で

2千円をはらって名札をもらいました。そして、リーダー(ボランティアの人)が来て、自分の組の所へ連れていってくれました。私たちは1のA組でした。リーダーもやさしそうな人で、かたたんにおしゃべりを出来るようになりました。

一番最初にテキストをもらってから今から何をするのかの説明を聞きました。

その日の最初に行く動物はジャガーでした。ジャガーは大きな丸太で爪をといたり、丸太をかんで牙を強くしたりしていました。次はトラの所へ行きました。そこでは、飼育員のおじさんからトラの説明をもらいました。トラは、赤ちゃんを生むときには、まっくらな部屋の中で、だれも入ってこないようにたいで、赤ちゃんを生みます。もし、だれかが、入って来たら赤ちゃんを取られると思って、自分を生んだ赤ちゃんを食べてしまうからです。その後、調理場へ連れて行ってもらいました。トラはどのくらいの量のえさを食べるかを教えてもらいました。実さいにえさを入れたバケツを持たせてもらいましたが片手ではぜんぜん持ち上がらなくて両手で持ってほんの少し持ち上がるくらいでした。

トラは一日でそうとうな量のえさを食べるんだなあとおどろきました。それからレクチャールームへ行ってみんなでお昼ごはんを食べながら、昼からの予定を聞きました。

ボランティアの人たちはとても親切で、いろいろなことを教えてくれました。私は、たくさんの人たちとお友達になれてとてもうれしかったです。



それからゾウと麒麟の所へ行きました。ゾウはさくの外から見ていてもとても大きく感じましたが、しんしつのなかで見ると、ものすごく大きいのが分かりました。飼育員の方が、スイカやバナナをあげると足で割ったりして一気のみこんだりして、食べていました。麒麟はつのが5つあると聞いておどろきました。だって、今まで写真や絵本で見ていたのは頭の上につのが2つあるだけだと思っていたんだもの。その後は、飼育員の方の説明を聞いて麒麟のふんのそ

うじをしました。思っていたより麒麟のふんそうじは、とてもむづかかったです。ふんだけを取るように言われたけれど、すなまでいっしょにはいてしまうからです。飼育員の方のおしごとはとてもたいへんだなあと思いました。それから麒麟にかん草の固まったものを手にのせて麒麟にあげました。麒麟は私の手もペロッとなめてくれました。何もかも初めてのことだったので、アッと言う間に一日が終わってしまいました。次の日は、サマースクールに行くのが楽しみなので、ぐずぐずしないで早く行きました。同じ場所で受付をした後、予定にはなかったのですが、「今日はホッキョクグマに氷柱のプレゼントをする日だから見に行こう」とボランティアのポンちゃんが言って私たちみんなを連れて行ってくれました。テレビ局の人がたくさんいたので少しきんちょうしましたが、シロクマが氷を持って気持ちよさそうにしているのを見て、私も暑いから氷が食べたくくなりました。それからラマとカンガルーの所へ行きました。

最初にラクダに草をあげました。ラクダは草を少し出してやると口を出してバクバクと食べていました。それからカンガルーとラマとラクダについての質問をしました。ラマの身長は立っているときは地面から窓ぐらまでの背の高さがあるそうです。カンガルーは1回のジャンプで1つの堀からもう1つの堀まで飛べるそうです。午後からは、ちがう部屋でバッヂをつくりました。バッヂにどんな絵をかこうかなと思っているうちにみんながいなくなってしまい「もういいや」と思ってコアラをかいてボランティアさんのところへもっていくとわりとかわいいバッヂになったので、もう一つ作りました。終了式が終わって帰るときにさっそくリュックサックにつけて帰りました。とても楽しいサマースクールでした。来年も行きたいです。飼育員の方やボランティアの方や獣医の先生どうもありがとうございました。



グラフ200

第22回サマースクール

今年も恒例のサマースクールを開校しました。
いったいどんな活動をするのだろうかと思われる方も多いでしょう。
そこで内容を皆様に写真でご紹介します。(管理課：落合正彦)

うまく切れたかな？

調理場で、
動物のエサを作る
生徒たち。



ゾウの鼻の器
用さを観察し
ました。
「ゾウの鼻って
長いんだね」。



キリンにエサをやる生徒。

あつ、
なめられた。



楽しく
走鳥類の卵の
大きさを測定。

ハイポーズ！



コアラのエサ
"ユーカリ"を
せんてい
剪定する生徒。



2日目にはレクチャールームで
修了式を行いました。
2日間よくがんばりました！

公園花だより



今回は天王寺動物公園の、ユーカリとコアラについて書いてみました。

ユーカリは、600種類以上もあると言われ、高さ4~5メートルのものから100メートルになるものもあるそうです。

ユーカリは、樹種の一つであり、オーストラリアでは貴重な資源植物のようです。つまり、コアラにとっては唯一の飼料であり、人間にとっても利用度の高い植物です。その木材利用としては、あらゆる建築材、紙の原料、ベニヤ板、橋、枕木、家具、農用器具、ボート、楽器、マッチ等、また、ユーカリの樹皮からとれる植物性のタンニンが皮革の製造に用いられるそうです。

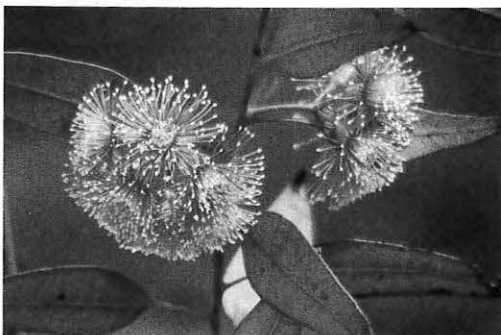
さらにユーカリの葉からとれる特有な精油分は工業用、薬用に、止血剤、下剤、赤痢などの薬になるそうです。干害がしばしば起こるような所では葉や若い茎を他の動物の飼料として利用することもあるそうです。花はオーストラリアの蜜源植物として最も良いとされ、原住民の間では、悪天候の季節の救荒植物として食料や水の代わりとしても役立っているそうです。

さて、コアラが餌として食べるのは30~40種とされていて、当園で餌として使用しているユーカリは、オーストラリア連邦政府が定めている15グループ、23種のうち11グループ、16種でこれらのユーカリを西日本各地で植栽、コアラの餌として約7万株を栽培しています。

植栽地は、天王寺動物園内、和歌山県、岡山県、沖縄県、鹿児島県、と分散して栽培しています。これはユーカリの病害虫、森林火災、台風、山崩れ、干害、それにコアラの嗜好の変化などに備えたもので、一カ所で大量栽培することは危険性が大きいからです。コアラは、ユーカリしか食べません。それも新葉だけです。ユーカリは水分が60~70%とたくさん含まれており、ほとんど水を飲む必要がありません。私たち人間では考えられないことです。

では、ユーカリの葉の栄養はどうでしょうか。成分、カロリーでは、ほぼサツマイモと同等だそ

うです。また脂質、繊維、ビタミンA、ビタミンC、カルシウム、カリウム等は穀類よりずば抜けて高く、このことからユーカリは非常に良質の高栄養価の食品だそうです。次に、当園のコアラが好んで食べているユーカリの名前をあげてみましょう。オブッサ、ルビダ、ビミナリス、オバータ、ゴニオカリックス、ルディス、カマルドレンシス、ラジャータ、オブリカ、ロバスタ、現在はこれらのうちのところどころです。みなさんおぼえられましたか。ユーカリにも、美しく、やさしそうな花が咲きます。当園ではビミナリス、オブリカ、オバータ、テレチコルニス、カマルドレンシス、トルクアータ(サンゴユーカリ)、また、レモンの香りのするシトリオドラに花が咲きました。



サンゴユーカリの花

当園のコアラは1989年6月、オーストラリアから、第1陣3頭(メル、テラ、ララ)が来園、翌年5月には、ハク、ハナ、ミドリの3頭が来園し、1991年7月にはハクとミドリの間に当園ではじめての子供(ミク)が生まれ、92年にはクミ、94年4月リクが生まれました。

94年6月にはミクが淡路ファームパークへ移り、交替でコウが来園、95年10月にはメルがメルボルンへ里帰り、そのかわりにボルン、リアが来園しました。

10/1現在、8頭を飼育しています。

ユーカリしか食べないこのコアラはぜいたくなのか、なんでも食べる人間がぜいたくなのか。みなさんどちらだと思いますか。私はコアラかなと思います。

さて、ご来園時にはぜひコアラ舎へ立寄り、コアラ舎の回りにユーカリを植栽していますからお見のがしなく。秋頃には花が咲いているかもしれません。

(山元貞幸)

8/2. マダガスカルシャコが1羽ふ化しました。
8/3. ヒヨドリ2羽、キジバト1羽を保護しました。

カンムリウズラが3羽ふ化しました。
8/4. カンムリウズラが7羽ふ化しました。
カルガモを1羽保護しました。

8月5日 6月5日に生まれた2頭のライオンの赤ちゃんを他の個体と一緒に展示しました。赤ちゃんは生まれてから寝室の檻越しに見合いを続けていたので同居はとてスムーズでした。



フランソワルトンが1頭生まれました。成獣は体のほとんどが黒い毛で覆われていますが、赤ちゃんは金色に近い茶色です。



8/6. ヒヨドリを1羽保護しました。

8/8. ライオンの赤ちゃんにワクチンを接種しました。

スズメを1羽保護しました。

8/9. アオサギを2羽保護しました。

8/10. タヌキを1頭保護しました。

8/11. スズメを1羽保護しました。軽いショック状態だったので、治療後すぐに回復したので放鳥しました。

8/13. 7月に保護したツバメ、コシアカツバメと8月4日に保護したカルガモが元気になったので放鳥しました。

8/14. ヒヨドリを1羽保護しました。

8/15. ゴイサギとドバト各1羽、ツバメ2羽を保護しました。

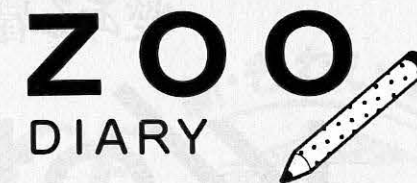
8/16. ゴイサギとアカエリヒレアシシギ各1羽を保護しました。

8/17. カルガモを1羽保護しました。パタスザルのメスがオスに咬まれ怪我をしたので治療を始めました。

8月18日 チンパンジーの“ミツコ”が初潮を迎えました。“ミツコ”は国内生ま



今月もおもしろ情報満載



れの8才で、1992年に当園に入園しました。将来の繁殖が楽しみです。

クロサイの仔“サトミ”が母親の“サッチャン”に攻撃され軽い怪我をしました。子離れ行動のようです。

8/20. カワセミとドバトを各1羽保護しました。

8/21. コシアカツバメを1羽保護しました。

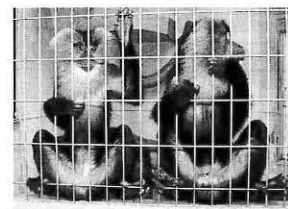
8/23. キジバトを1羽保護しました。また、7月と8月に保護したタヌキ2頭とハシボソガラス、ドバト各1羽を自然復帰させました。

トカラヤギの仔が脚を怪我したので、治療を始めました。

8月25日 クロサイが1頭生まれました。母親“サッチャン”にとって3頭目の子供です。赤ちゃんは既に起立しており、この日の早朝に生まれたようです。授乳も確認できました。



8月28日 寄生虫治療のため動物病院で隔離していたシシオザルのオスが完治したので、サル舎に戻しメスと同居させました。



グラントシマウマの仔が脚を怪我したので、治療を始めました。

8/30. キジ類全羽にワクチンを接種しました。

■お知らせ■

●「動物クラフト作り」
日時：10月20日(日) 午後1時~
場所：レクチャールーム

愛ある暮らし、応援します。

Kintetsu

近鉄百貨店

DEAR LIFE BOOKS



生態・飼育・図鑑が一つの本の 中にギッシリ

動物園で暮らす様々な生き物達、自然の中ではどんな暮らしをしているのか？ 動物園での世話の仕方は？ 仲間は？ など、写真と精密イラストをまじえ紹介します。

くらしとかいかたシリーズ<既刊本>

B5変型判・オールカラー

むしくらしとかいかた

野山でみかける身近な昆虫たち250種を紹介。

ちいさないきものくらしとかいかた

昆虫以外の小さな生き物を320種紹介。

お求めは、お近くの書店で。 ひかりのくに株式会社 本社/〒543 大阪市天王寺区上本町3-2 ☎06-768-1151代表



マスターのポップコーン



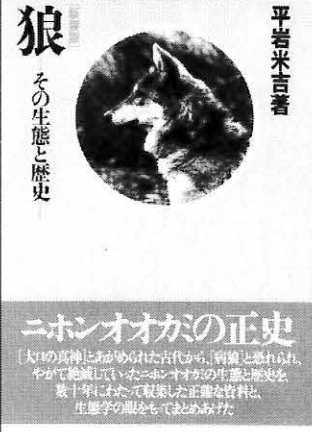
〈営業品目〉 製造機械・保温機 他
生コーン・袋詰ポップコーン・原材料一式

(株)増田食品 〒561 大阪府豊中市穂積1-10-30
TEL (06) 865-0165

新・きれいな色 FUJICOLOR SUPER G ACE 400



カマロの大林
桜橋本店 ☎341-8091
阪急三番街店 ☎372-5031



ニホンオオカミの生態と歴史の集大成

狼 — その生態と歴史 —

平岩米吉[著] A5判 308頁 定価2,678円(税込)

ニホンオオカミは今もどこかで生きのびているのか——。狼と生活をともにした実体験を基盤に、数十年にわたり収集した正確な資料と生態学の眼をもって、ニホンオオカミの特徴や大きさ、性質などを分析。今も根強く残っている残存説を検証するとともに、絶滅へといたる歴史をも詳述する「ニホンオオカミの正史」。

築地書館 〒104 東京都中央区築地2-10-12 TEL 03-3542-3731 FAX 03-3541-5799 振替 00110-5-19057
●ご注文は、最寄りの書店または直接上記宛先まで。(直接郵送時の送料は一律400円です。)

新作
貸出用「楽しい天王寺動物園」
ビデオ 19分(10本常備)

- 対象/保育園・幼稚園・小学校の先生
- 貸出期間/10日間
- 貸出料/無料(但し郵送料510円は必要)
- 申込先/当協会まで手紙かハガキでお申込下さい。

コアラテレホンカード(限定販売)
好評発売中 ¥800(50度用)

天王寺動物園の本 入園の記念・手引に……



オールカラー
500円 園内売店にあります。

大阪市天王寺動物園協会 〒543 大阪市天王寺区茶臼山町6-74 ☎(06)771-0201

ああ、男のやすらぎ。ジョージア

ひと息入れよ。ジョージアで、

Enjoy **GEORGIA**

© 1998 三洋物産株式会社
GEORGIAは「三洋」の登録商標です。
●あきかんの夜間化にご協力下さい。

鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達

- ・医学実験用動物
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券250円

有限会社 吉川商会

本社 神戸市中央区中山手通3丁目11番4号
飼育場 兵庫県小野市来住町1513番地

電話(078)221-8195(代)

たのしい動物のお話は、
ガイドマシン(動物説明機)で、どうぞ!!

園内、主要動物舎
30数カ所にあります

関西特機株式会社
電話 06-762-2333
1回 30円

動物園内での
お食事、
ご休憩は

動物園内.....
中央売店
TEL 06-771-0973

お食事・飲み物・おみやげ 動物園内
南園売店 TEL 06-771-7110

.....LOTTE.....

みんな大好き

コアラのマーチ

〈チョコレート〉

〈ストロベリー〉



雪印 つぶよみ フルーツ ヨーグルト



●ライチミックス ●ストロベリー ●アップル ●ピーチ ●フルーツミックス

おいしさは、産地のよさです。

台湾のライチ、フィリピンのナタ・デ・ココとパイナップル—— ●ライチミックス
 国産の女峰、オレゴンのトーテム、中南米のチャンドラー、季節の旬を追って—— ●ストロベリー
 日本の富士、中国・韓国・韓国。それぞれおいしい季節の—— ●アップル
 桃といえば中国です。そして韓国。旬に一括収穫した白桃で—— ●ピーチ
 アプリコット、メロン、アップル、パイナップル、ミカン。果物狂の—— ●フルーツミックス

お待たせ
新発売

希望小売価格・税抜 **各100円**



一日
愉快地
たのしめる

◎園内3ヶ所(南園高架下・北園中央デッキ北側・北園高架下)に各種のりものがあります。



久竹娛樂株式会社
TEL(06)541-3938(代)

なきごえ 1996年10月10日発行(毎月10日発行) 第32巻 第10号 (通巻374号)

編集 / 大阪市天王寺動物園事務所
 発行人 / 大阪市天王寺動物園協会 伊東重朗
 印刷所 / 株式会社 松村善進堂 定価150円(送料共) 1年継続(12部) 1,650円(送料共)

〒543 大阪市天王寺区茶臼山町6-74
 電話 大阪 (06) 771-0201
 振替口座 00930-2-37823

編集委員 (樽本 勲 / 馬詰好文 / 増野祝敏 / 中川哲男 / 吉本昌俊 / 長谷川敏昭 / 落合正彦 / 宮下 実 / 榎原安昭 / 森本委利 / 高橋雅之 / 市川久雄 / 中上正幸 / 堀 眞佐子 / 萩原祐二 / 竹田正人 / 高見一利 / 大野尊信 / 野口秀高 / 早川 篤 / 村上勇一 / 西村慶太 / 山元貞幸)